

企業理念

～大林道路からのお約束～

3つのテーマからなる、大林道路の企業理念を紹介します。

豊かな生活環境の創造に向けて

社会基盤、産業基盤、生活基盤等において、安全で、快適で豊かな環境を創造し、サービスを提供することにより、人々に真の満足を与え、生活の向上と社会の発展に貢献します。

地域社会と共に歩み

企業行動を営むそれぞれの地域社会において、事業を通じ、また、その地域の一員として溶け込み、地域社会の発展に尽くします。

人間尊重の経営を行います

従業員一人ひとりの個性を生かし、誇りと働きがい、生きがいのある場を提供し、また、当社と関係のある全ての人が幸せとなることを願い行動します。

経営規範

1. 人々の期待に応え、時代を先取りした技術力により、新たな価値を創ります。

人々（社会）の要請・期待に応えることを目指し、時代の先を読んだ創造性あふれる技術開発によって、顧客が満足する新たな価値あるものをつくり、顧客の高い信頼と社会的評価を得るよう努めます。

2. 創造力豊かな人を育て、柔軟な組織のもとで、生き生きとした職場を創ります。

個性を尊重し、創造力を育て、能力を発揮しやすい組織及び能力ある人に報いる制度を築き、従業員が生き生きとして活躍できる「信頼と協調の風土」や創造への挑戦の気風に満ちた「闊達な職場風土」をつくりあげるとともに、安全対策の強化・充実に努めます。

3. 良き企業市民として、社会と文化の発展に寄与します。

環境保全に配慮し、地域社会との良好な関係を構築し積極的な社会貢献の推進を図るとともに、公正で自由な競争と適正な事業活動を推進し、地域社会への貢献と文化の発展に寄与します。また、協力会社との公正で透明な契約の締結及び役割の明確化を図り、合理的な施工・製造システムを確立します。

Contents —目次—

企業理念／経営規範／目次／編集方針	1
トップコミットメント／CSR推進の枠組み	3
コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス	5

Topics

災害復旧への取り組み	
平成26年2月発生の大雪の除雪について	7
東日本大震災 復興関連	8
環境商品の提案	9
海外工事	10

豊かな生活環境の創造に向けて

良質な工事・製品の提供	11
価値ある情報の提供	14

地域社会と共に歩み

地域住民との良好な関係の構築	15
地球環境への配慮	17

人間尊重の経営を行います

安全衛生方針	19
人材育成	20

大林道路の事業	21
---------	----

編集方針

大林道路は、2009年から社会的責任の取り組みや考え方をより多くのステークホルダーの皆さまにご理解をいただくため、CSR報告書を毎年発行しています。

報告内容は、左記に示した企業理念の項目に沿った形で内容を構成し、トップメッセージ、2013年度の活動など重要度が高いと考えた項目をできるだけわかりやすくお伝えできるよう心がけ、編集しています。

- 対象組織 大林道路株式会社
- 対象期間 2013年度（2013年4月1日から2014年3月31日まで。一部それ以前からの取り組みや2014年度の活動も掲載）

- 発行時期 2014年10月
（前回 2013年10月発行
次回 2015年10月発行予定）
- 作成部署 CSR報告書作成委員会
- お問い合わせ先
大林道路株式会社 本店総務部 総務課
〒101-8228 東京都千代田区猿樂町2-8-8
住友不動産猿樂町ビル
TEL：03-3295-8860
FAX：03-3295-8392

トップコミットメント

皆様の安心・安全を確保し、 信頼される会社であり続けます。

当社は常に企業理念を念頭において行動し、社会的な責任を果たしていくことがCSR活動の根幹であり、ステークホルダーである皆さまに対し誠意ある企業活動を行う第一歩と考えています。

昨年度は東日本大震災の影響で中断していた常磐自動車道の双葉地区での舗装工事を再開しました。来年のゴールデンウィーク前には仙台まで全線開通し、地域の復興を加速するものと期待されます。

また、ミャンマーに日本の道路舗装技術を普及させる国土交通省のプロジェクトに参加し、現地の舗装技術の向上に貢献することができました。

これからも大林道路は、環境保全や地球温暖化対策など皆様の生活環境をより良いものとする技術の開発に挑戦し、「豊かな生活環境の創造」、「地域社会との共生」、「人間尊重の経営」の企業理念のもと、国土整備を担っていく所存でございます。

これらCSRの考え方や目指すべく方向について、その活動内容を取りまとめました。当社のCSR活動についてご理解いただき、あわせて忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

2014年10月



2014年7月2日双葉地区舗装工事プラント火入れ式にて



代表取締役社長
長谷川 仁

CSR推進の枠組み

大林道路のCSRは、企業理念を常に念頭に置き「豊かな生活環境の創造」「地域社会との共生」「人間尊重の経営」の実現を目指すことです。

大林道路のCSR活動に必要な第一歩とは「ステークホルダーに対する誠意ある企業活動」であると考えています。大林道路のCSR活動はコンプライアンスを基本とし、これまでの企業活動に加えて説明責任や情報開示を企業自らの意思で行い、地域社会への積極的な働きかけを行うことが大切であると考えています。



経営の透明性、健全性を高めるために

コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスを基盤とする経営を行っています。

コーポレート・ガバナンス体制

大林道路は、コーポレート・ガバナンスを通じて内部統制していくことがコンプライアンス経営の根幹であり、健全な企業として発展していく上で不可欠な要素であると考えています。

その考えのもと、事業活動に対する説明責任や経営の健全性、効率性および透明性の向上をめざして、また正しい経営判断を行い、実行できるよう取締役会、経営会議、企業倫理委員会などで十分審議し、適宜、監査役会に報告し、適切な監査を受けています。

また、企業会計については、独立の立場である会計監査人から監査を受けています。

内部統制体制／コンプライアンス

- 企業倫理綱領行動基準（2002年制定）において「反社会的勢力との関係遮断」を定めており、従業員研修などの場での反復教育・指導により周知徹底を図っています。
- 企業倫理遵守のための基本方針を策定し、定期的に企業倫理委員会を開催することで、企業倫理遵守の徹底を図っています。2013年度は、6回の委員会を開催しました。
- 経営の健全化を目的として、内部通報制度を設けています。通報内容については、直ちにその事実関係を調査し必要な処置をとっています。
- 内部監査担当部署による各部門の業務執行状況、コンプライアンスおよび財務報告に係わる内部統制システムの監査を定期的実施しています。2013年度は、全店において実地監査を行いました。

危機管理体制

- 危機管理対策規程を整備、運用し、危機を未然に防ぐとともに、万一発生した場合にも迅速かつ適切な対応ができるよう対策をとっています。
- BCP（事業継続計画）を策定し、自然災害など予期せぬ事態が発生した時にも事業が継続できるよう対策をとっており、お客様や地域住民への復旧支援、災害対応を実施できる体制をとっています。

情報管理体制

- 情報資産のセキュリティに関する基本方針を定め、緊急事態の発生に備えた予防対策を講じています。また、セキュリティ教育、不適切ソフトの調査、設問形式による従業員へのアンケート実施など、随時啓蒙活動を行っています。
- 個人情報取扱規程を整備、運用し、個人情報を適正に取り扱っています。
- 経営の重要事実に関して情報管理を行い、不正な取引が行われぬようインサイダー取引防止規程を整備、運用しています。

コーポレート・ガバナンス体制図

